

【灯】 「目立たない作業への感謝」

<2022/10/24 大分合同新聞掲載>

先日、県民スポーツ大会のハンドボール決勝を観戦しました(私は高校・大学とハンド部員で、今も大ファンです)。女子決勝では、交代選手が少ない中でも奮戦する別府市に対して、素早い速攻を次々と決めた大分市が快勝しました。

他方、男子決勝は、高身長の留学生選手と背比べをするなど、和やかなムードだった試合前とは一変し、引き締まった攻防が繰り広げられました。華麗なバックハンドシュートやベテランGKの好セーブなど、随所に見どころがありました。結果は大分市が別府市を振り切って男女アベック優勝を果たしました。

競技を行う上で忘れてはならないのは、いわゆる「裏方さん」の存在です。審判員の方々は、暑い中でも選手と同様に長い距離を走り、プレーを丹念に見極めておられました。また、大分舞鶴高校ハンドボール部の皆さんは、週末にもかかわらず、会場設営や公式記録員、コートのもップがけなどを担当してくれました。このような方々のおかげで、選手は存分に実力を発揮し、また大きなけがなく大会を終了できたのだと思います。

スポーツに限らず、日常生活においても、私たちの暮らしを支えるために、昼夜を問わず、インフラの補修など目に見えづらい作業を手がけてくださっている方々がおられます。こうした皆さまへの感謝の気持ちを忘れないようにしたいものです。(日本銀行大分支店長)